

(調査様式1)

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成24年10月18日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4676900139号
法人名	医療法人 参昭会
事業所名	グループホーム 昭ちゃんの家
所在地	鹿児島県志布志市有明町蓬原554番地6号 (電話) 099-475-2224
自己評価作成日	平成24年8月10日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

施設の周囲は畑や山に囲まれている緑豊かでのどかな場所である。地域の方々とのふれあいもあり、隣の畑で収穫された野菜なども提供して下さったりして交流も図っている。院長宅が隣接し、毎朝、院長の訪問があることで家族の安心にもつながっている。

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成24年8月29日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

自然環境に恵まれた旧有明町の郊外に建てられており、ホームの周りは広いウッドデッキで囲まれ、温かみのある明るく開放的な造りのグループホームである。母体医療法人の院長宅が隣接し、院長の毎朝の訪問と定期的な訪問歯科、訪問看護による利用者の健康管理は本人、家族の安心に繋がっている。開設して7年が経ち、利用者の加齢に伴う重度化を現実のものとして受け止め、本人、家族の希望による看取りについても職員が不安なく取り組めるように支援体制を整えている。季刊誌であるホーム便りが工夫されており、ホームでの出来事、行事報告、医療面、実習・勉強会報告、豆知識コーナーなど内容が充実して家族からも勉強になるとの声が聞かれ大変喜ばれている。

職員の離職が少なく、介護福祉士、介護支援専門員、看護師の有資格者が多く、知識と経験が豊富な人材に恵まれている。また、代表者と職員の間には壁がなく、良好な関係が築かれて各自が向上心を持って働けるような職場環境である。今後も職員の知識と技術を活かし、サービスの質の向上と更に地域に密着したグループホーム運営に代表者・管理者・職員の意欲が伺われる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念は玄関、リビング、職員トイレに掲示してあり、朝礼時に唱和を行い、毎日理念の確認を行うようにし、ホームだよりにも毎回掲載している。	ホームを家としてとらえた5つの文言の理念を開設当初の職員全員で話し合っって作り上げている。その中の「地域と交流できくつろげる家」に地域交流の重要性を謳っている。理念は職員が目につくところに掲示して毎朝の唱和、毎月のミーティングでの確認の機会などで理念の共有と実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している	毎年2回実施する消防訓練や、集落の奉仕作業、運営推進会議に参加をしてもらったりし、積極的に交流を心がけている。	自治会に加入して職員が奉仕作業に参加するなど積極的な交流に努めている。近隣とは日常の挨拶や野菜のおすそわけなど日常的な近所付き合いができています。中学生の職場体験学習、実習生、ボランティアの介護サポーターの受け入れも行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	ホームだよりに認知症の勉強のコーナーを設けており、家族や運営推進会議の会議出席者に配布し理解を深めてもらっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族代表、自治会長、行政職員、地域消防団、駐在所員などの参加を得て、2ヶ月に1回開催している。ホームの状況報告や地域との交流実績、ホームからの要望等の意見を元に意見交換やアドバイス等をしている。サービス向上に活かせるように取り組みを強化していきたい。	家族代表、自治会長、行政職員、消防署員、駐在所員など、幅広い参加者で2ヶ月に1回開催されている。ときには、家族の参加が得られやすいように、ホームの行事（夏祭り・敬老会・忘年会）にからませて行うこともある。今後もホームの良き理解者、協力者を得られるように幅広い参加者を検討している。	

鹿児島県 グループホーム昭ちゃんの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村との連携は機会をとらえて報告や相談など行い連携に努めている。運営推進会議への参加や、生活保護の利用者もおり報告している。	毎回、運営推進会議に市職員が参加しており、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の勉強会や廃止委員会を通じて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	契約書に「身体拘束その他利用者の行動を制限しません」と明記しており、拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。定期的な勉強会、検討会議を行って職員が正しく理解できるように取り組んでいる。帰宅願望の強い利用者があり、安全対策として居室の窓にセンサーをつけるなどの対策を講じているが、行動の制限をすることなく安全で自由な生活を支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待についても、職員で勉強会を行ったり、職員の行動などお互いが注意し合っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度についての話し合い等は特に、現在は実施していない状況です。		

鹿児島県 グループホーム昭ちゃんの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入・退居時に家族へ契約について説明する際は、理解・納得していただけるようになっている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関先に意見要望箱を設置したり、面会時や電話で会話する機会に意見要望を聞き出すように努めている。アンケートや家族会を通して意見交換を行い、家族との連絡ノートも準備している。	日常の面会時や電話連絡時、ホームの行事の際に意見や要望を聞き出すように努めている。また、年1回アンケートを実施して家族の率直な意見や思いなどを表してもらえるように工夫している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月1回実施している職員会議やケース会議時に話し合いの場を設けたりし、職員の意見交換も行なっている。	代表者・管理者は職員が意見・要望をしやすいように雰囲気作りに心がけている。また、出された要望などについてはできるだけ運営に反映させるようにしている。代表者と職員間に壁がなく、毎朝の来訪や自らが勉強会を行ったりと職員とのコミュニケーションが図られている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	院長が職員会議等にも出席され勉強会の資料を準備されたり、職員の意見を聴いたりされ各自が向上心を持って働けるよう職場環境の整備に努めている。		

鹿児島県 グループホーム昭ちゃんの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>ホームだよりも研修報告の欄を設け掲載したり、新規採用者は他施設での研修を取り入れている。研修案内が届き次第職員へ希望を募り参加を促し、職員全員が情報と知識を共有している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>大隅地区グループホーム連絡協議会に加入し、勉強会や研修に参加して交流している。近隣のグループホームからも職員が勉強に来られたり、逆にこちらからも研修依頼して交流している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>施設見学を兼ねて、心身の状態生活状況を把握するために、事前面談を行うようにしている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>利用契約を行う段階で、家族が不安に思われていることや、要望等も聞き、カンファレンス会議等でも不安解消に努めるように努力している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>カンファレンス会議等を通じて家族と本人の思いを聞き入れ計画するよう努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>日頃から利用者の方との信頼関係を築き、個々の特性を生かした役割を提供しています。</p>		

鹿児島県 グループホーム昭ちゃんの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時等、家族とのコミュニケーションを図り、本人の毎日の様子、状態を伝えなんでも言っていただけるような関係づくりに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の協力をもらいながら近所へのドライブ、友人との交流を行ったりしています。美容院は昔からの行きつけのところを利用する方もいます。	本人の希望による墓参りや美容院などこれまでの関係が途切れないように支援している。また、友人・知人の訪問もあり、訪ねやすいように配慮している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お茶、食事時間等職員も輪に入り、会話が弾むよう配慮しています。仲の良い利用者同士を近くの席にしたり一人の利用者が寂しくならないようにスタッフが関わっています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院治療は必要で退居となった利用者の場合はお見舞いに行ったり、家族と話をするなど関係継続に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の会話や行動、ご家族より情報を得たりして把握に努めている。またケア会議等で職員の気づき等で本人様の意向をくみ取れるようにしています。	家族からの情報、日常の会話や言動、表情などから思いや意向の把握に努めている。職員の気づきは朝の申し送り時や記録で情報を共有できるようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人との会話や、ご家族の面会時に話しを伺い、これまでの生活歴等の情報把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の生活リズム（食事量・睡眠・排泄パターン等）の把握を行い、行動や表情からの気づき等全体像の把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人様やご家族の思いや希望を聞き、職員からの気づきや意見をケース会議等を通して把握し、介護計画作成に活かしています。	重度化して本人の希望を把握することが困難な利用者も多いが、ホームでより良く生活出来るようにケース会議などで話し合っ て介護計画に反映させている。特に大きな変化がなければ6ヵ月ごとに見直しを行い、状態変化時、入退院後の見直しは都度行って、現状に即した介護計画を作成している。	

鹿児島県 グループホーム昭ちゃんの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常生活の記録と介護計画と分けて記入しています。特変時等も分かりやすく、誰が見てもその時の状態、様子等が記入出来る様、書ければ良いと思います。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	希望者は、同法人のクリニックで電気治療、定期的な健康診断を受けていますが、サービスの多機能化の部分の取り組みがとれていない。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	年2回の消防訓練を行い、消防署、地域住民の協力を得たり、敬老会の行事等でボランティアや地域住民の訪問をして頂き、楽しむことが出来る様、支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約時にかかりつけ医についての説明、利用者、ご家族の同意を得ている。毎朝、開設者である院長の訪問があるので、健康状態の把握も出来ている。急な診療を要する場合でも院長宅が隣地にあるので対応も可能である。	かかりつけ医は契約時に本人、家族に説明して同意を得ている。毎朝、法人の医師の訪問があり、個々の健康状態が把握されている。定期的な訪問歯科、訪問看護もあり、利用者の健康管理が行き届いている。	

鹿児島県 グループホーム昭ちゃんの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>職場内の看護師は、引き継ぎ等で入居者の状態把握し、他に毎週火曜日に訪問看護を実施し助言や対応を受けている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>開設者である院長が医師会系の病院当直をされており、入院の手配や入院後の状態観察も行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>看取りについてのご家族の意向や対応指針を定め、同意を得ている。24時間対応が出来る様、訪問看護との連携がとれている。</p>	<p>重度化や終末期に向けたホームの方針は入居時に説明して同意を得ている。入居後は身体状況に応じて主治医の指示の基家族と話し合いを持ち、方向性を共有して支援に取り組んでいる。医師による「終末期について」の勉強会もおこなっており、職員が不安なく取り組めるように支援体制を整えている。また、ホーム便りにもターミナルケアについてのホームの方針を明記して家族の理解を得られるようにしている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>院長に救急時の対応の仕方の学習を行い、日中、夜間の対応マニュアルを作成し、緊急時に備えている。</p>		

鹿児島県 グループホーム昭ちゃんの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	毎年2回以上の避難訓練を実施しており、地域住民にも協力を要請し訓練に参加して頂いている。	年2回定期的に避難訓練を行っている。地域の方の参加もあるが、今後もより多くの協力者の確保を課題としている。非常時の備蓄の確保も出来ており、スプリンクラーも設置済みである。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	各利用者の現在までの生活歴や家族からの情報を元に人格の尊厳を守る様接遇にも気を使っている。新たな問題等が挙げられるときは職員全員で話し合いを重ね対応を統一出来るようにしている。また、個人情報には最新の注意をはらい、従業規定に則り管理・経営者を中心に周知に取り組んでいる。	自己決定しやすいように言葉かけに配慮し、日常の業務の中でも気づいたら職員間で注意しあって職員の資質の向上に向けて取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	介助や活動の前には利用者の意見や希望を聞き、意思の決定が図れるよう援助している。また、自発的に意思を訴えられない方には家族からの意向や情報を元に判断できるよう努力している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のレベルやその日の体調・気分に合わせて生活出来るように援助している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	整容に関しても本人の使い慣れた化粧品や道具等を使用してもらったりしている。また、朝や入浴後などもあわせて行なっています。洋服に関しても本人と会話しながら決めるなどし選択の自由を図る。散髪等は希望時に随時外出支援や、ホームで行なっております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立の作成や嗜好に利用者の意見を取り入れ、利用者の気分によっても調理に参加できる環境も作っています。また、配膳や下膳等も役割の一つとしてお手伝いを頂いています。	利用者個々の残存能力に応じて出来ることを職員とともにやっている。行事の際はバイキングにしたり、気候のいい時期はテラスでお茶や食事をするなどして食事を楽めるように工夫している。個別支援で受診の帰りに外食をすることもある。	

鹿児島県 グループホーム昭ちゃんの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	各利用者の食事・水分の摂取率や排泄状況なども踏まえ、本人の嗜好にあったもので一定量が確保出来るように援助しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時・就寝時・毎食後には職員が付き添い声かけや介助での口腔ケアが行えるように援助しています。また、終末期の利用者へも適宜で清潔保持が行えるように居室へガーゼを置くなどして配慮しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	トイレ誘導は定時以外にも訴え時や適宜で随時行えるように対応しています。また、日々の排泄チェック表や体調から排泄パターンを掴めるよう職員同士でもこまめに話しをしている。	排せつチェック表を工夫して利用者個々の排せつパターンを把握し、日中はトイレ誘導を行ってトイレでの排せつを支援している。また、個々に応じた介助について詳しく明記した一覧表を作成し、ケアの統一を図っている。自立している利用もあり、継続できるように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘に関する勉強会と各利用者の体質や排泄パターンを元になるべく自然排便出来るよう自然食品(オリーブオイル)や乳製品、温・冷の飲み物等で胃腸反応を高めている。また、下剤の使用も必要時以外は控え、既往なども考慮し3日以内に排便出来るよう援助している。		

鹿児島県 グループホーム昭ちゃんの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	本人の意思を尊重しながら適時での入浴のお誘いをして、気軽に入浴し易い環境を作っている。	基本は週3回だが、身体状況や本人の希望により柔軟に支援している。入浴をためらう利用者には無理強いしない声かけの工夫とタイミングで支援し、入浴後には「気持ちがいい」との声が聞かれることもある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	各個人、自由に眠くなるまで過ごしてもらい、不安等あり眠れない時は、声掛けし付き添い等の援助をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	定期薬等、新しく処方される頓服薬等、誤嚥が起きないように、各個人目通しを行い、服薬中の状態チェックなども意識して行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように支援している。お手伝いの後は、感謝の言葉を忘れないようにしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	体調、行動力の範囲内で散歩をしたり、病院受診や電気治療等組み、外出して頂いている。	ウッドデッキを利用した外気浴や気分転換・ストレス発散のための散歩などにも出かけている。また、個別支援の受診、美容院、外食や季節の花見ドライブ、県下一周駅伝の見学など可能な限り外出の機会を作っている。	

鹿児島県 グループホーム昭ちゃんの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>1名の入居者へは、小銭程度を持たせてあるが、紛失することも度々見られる。ご家族も了承済みである。金銭管理はクリニックにて行い、買い物希望時等は都度同行援助している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話で会話をする能力がある方はおらず、職員で対応している。文字を書く能力がある方もいるが、手紙のやりとりはない。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>広いリビングにはソファやテレビ、テーブルも2ヶ所設けてあり、入居者がそれぞれお気に入りの場所で過ごせるよう配慮している。床材に竹を使用しており、柔らかい感触と温かみを感じられる。</p>	<p>共用空間の広いリビングからはそのままウッドデッキに出ることができるため明るく開放的である。随所に手摺が設けられており、自力歩行や生活リハビリにも活かされている。台所もオープンで見守りがしやすく食事においては五感を刺激してくれる。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>個人の気分に合わせて居場所が選択できるよう広い食堂ホールや、天気の良い日はウッドデッキにて日光浴をしたりしている。</p>		

鹿児島県 グループホーム昭ちゃんの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	昔、本人が使われていた物や気に入っている物を使用し、外出した際や家族との写真を飾っています。	各居室はウッドデッキが設けられており、すぐに外に出ることが出来るため閉塞感がない。ベッドとタンスはホームの備え付けだが、個々に使い慣れた家具や仏壇、写真、飾り物などが持ち込まれ居心地良く過ごせるように工夫されている。また、家族とともに居室の大掃除をする機会もあり、家族と相談しながら居室作りを行っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室、トイレ、お風呂場等に表札を付け、個人の理解力を把握し分かりやすくしています。	/	/

**V アウトカム項目**

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 グループホーム昭ちゃん家

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 グループホーム昭ちゃん家

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない